

国際交流員の活動日誌

vol.46

伊達市産のニットマスクも購入できました。そして、妹が米国の実家で作ってくれたマスクも大好きです。

「手作りマスク」 Handmade Face Masks

新型コロナウイルスの影響で、日本の社会はいろいろなことが変わっていきませんが、手作りマスクが使えるようになったのは、僕には毎日嬉しい事です。

実は、僕は感染症が流行する前からほぼ毎日マスク着用していました。毎日使うのに使い捨てはもったいないと思っていましたが、コロナの前は、白いマスクしか売ってなかったと思います。しかしそのマスクが急に買えなくなりました。幸い、優しい方々に手作りマスクを頂き、素敵な伊達市産のニットマスクも購入できました。そして、妹が米国の実家で作ってくれたマスクも大好きです。

去年の早春、僕は家族に「マスクを送って」と頼みましたが、米国でもマスクが買えなくなりました。その代わり、妹が亡くなった祖母のミシンを使い、僕が好きな紺色の生地でマスクを8枚縫って日本に郵送してくれました。さすがの妹、丈夫な物を作ったので、何年も使えそうです。使い捨てマスクよりも環境に優しく、見た目も良いので凄くありがたい物です。

毎日、妹が作ってくれたマスクを顔に付けて、ひもを結ぶ時、米国で頑張っている大切な家族について考えます。皆様も、大切な人を守るために、マスクの着用をしましょう！



地域の魅力 ふる里再発見

右城町歳の市大売出し

～企画展の展示品から～

企画展

救出された文化財

1/25 月まで

保原歴史文化資料館



昭和6年（1931）右城町商店街の大売出しを伝えるポスター（縦79センチ・横53センチ、梁川活版社製）です。期間は旧暦12月17日～1月2日（現代の2月4日～18日）の15日間です。「本年掉尾の大奉仕お待ちかねの聯合大福引」とあるように、年末の大売出しは福引券付きでした。福引券は購入額25銭につき1枚です。10枚で甲組抽選券1枚、2枚で乙組抽選券1枚と引替えになりました。

乙組景品は一等桐箆筒一重・座布団20枚・餅米一俵、二等瀬戸火鉢・反物・酒・醤油・汁椀・塩鮭、三等茶碗・足駄・小皿・タオル・腰巻などです。ポスター上段には、箆筒や米俵など、さまざまな景品が描かれています。景品に値する品々はいずれも、暮らしに必要な貴重品でした。

ポスター下段には、大売出しを企画した右城町協和会26店舗の店名が列記されています。念仏屋商店、三浦履物店、大竹醤油店、横山金物店、古閑酒店、氏家時計店、しんのや呉服店、喜多屋足袋店、丸木薬店、佐藤魚店、大竹紙店、泉田家具店などです。多種多様な品々を商う26店舗は、右城町商店街が「梁川の銀座」であった往時の活況を今に伝えています。